

平成 29 年 9 月 11 日

平成 29 年度（第 15 回）租税法務学会（桜税会）研究総会のご案内

租税法務学会（桜税会）

理事長 増田 英敏

拝啓 初秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、『租税実体法の解釈と適用』（中央経済社、平成 5 年刊）、『租税実体法の解釈と適用・2』（同、平成 12 年刊）の続編である『租税法の解釈と適用』が今秋出版されることになりました。そこで平成 29 年度（第 15 回）研究総会は、当学会の創設者である故松沢智先生が提唱された税法学（松沢税法学）の原点に立ち戻って、同書を踏まえた内容で開催することになりました。

研究総会では、増田英敏（当学会理事長）が「松沢税法学の系譜と租税法解釈の在り方」と題する基調講演を行い、下記のとおり、所得税、法人税、相続税・贈与税、租税手続法をめぐる解釈と適用の問題についての研究発表、そしてパネルディスカッションを行います。

皆様方におかれましてはご多忙のところ恐れ入りますが、万障お繰り合わせのうえ、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

末筆になりますが、皆様のさらなるご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

研究総会は、東京税理士会、東京地方税理士会、千葉県税理士会、関東信越税理士会の認定研修です。

敬具

記

研究総会テーマ 「租税法の解釈と適用」

日 時 平成 29 年 10 月 14 日（土曜） 午後 1 時から 5 時まで

会 場 専修大学神田キャンパス 7 号館 7 3 1 教室

内 容 基調講演

「松沢税法学の系譜と租税法解釈の在り方」 専修大学法学部教授・弁護士 増田 英敏
(当学会理事長)

個別発表

「医師の接待交際費等の必要経費該当性の判断」 旭川大学経済学部教授・公認会計士・税理士 小関 健三

「不動産の取得に際して売主へ支払った「固定資産税相当額」の損金算入の可否」 税理士 茂垣志乙里

「名義預金の相続財産該当性と遺産分割協議書の効力」 税理士 加瀬 昇一
(当学会副理事長)

「青色申告承認取消処分理由付記の不備とその違法性」 税理士 小出 絹恵

パネルディスカッション

増田英敏、小関健三、茂垣志乙里、加瀬昇一、小出絹恵

参加費 会員 資料代 1,000 円（非会員も資料代 1,000 円）

問合せ先：租税法務学会事務局（担当：谷口智紀）

Tel/Fax：0852-32-6135 e-mail：sozeihoumu@gmail.com